

日本語指導 ワークショップ

井上 恵子

1. ねらい

児童生徒の発達段階と日本語力に応じた「日本語指導略案」を作成する。

2. グループ及び課題

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A	初期指導	小学生 低学年	にほんごを まなぼう 9課「みのまわり」
B	中級指導	小学生 高学年	ひろこさんのたのしいにほんご 2 84課「雪は ダイヤモンドのよ うに かがやきました。」
C	教科学習に向けて 国語科	小学生 低学年	教育出版 2年下 「さけが大きくなるまで」
D	教科学習に向けて 社会科	小学生 中学年	東京書籍 3・4年 「水はどこから」
E	教科学習に向けて 算数科	小学生 中学年	啓林館 3年下 「分数」
F	教科学習に向けて 理科	小学生 高学年	大日本図書 6年 「月と太陽」
G	初期指導	中学生	こどものにほんご 11課「でんわ①」
H	教科学習に向けて 国語科	中学生	教育出版 1年 「音を追いかけて」

3. ワークショップの進め方

時間	活動内容
11:25～11:45	1. ワークショップの進め方についての説明を聞く。 ・ねらい ・グループ分け ・課題 ・時間配分 ・指導略案の作成方法及び留意点 ・発表方法 ・パソコン
13:00～14:45	1. グループに分かれて、課題についての指導略案を作成する。 (パソコンの「指導略案の形式」に書き入れる) 2. 発表の準備をする。
14:45～16:15	1. グループ発表をする。 1グループ 4分程度 (講評)

4. 指導略案作成上の留意点

- (1) 指導時間は小学校45分、中学校50分とする。
- (2) できる限り、4技能（聞く・話す・読む・書く）を入れる。
- (3) 過程の欄の（ ）に時配を入れる。
- (4) 必要に応じて、日本語力に合わせて「リライト教材」を作成する。
- (5) 必要に応じて、補助資料として「翻訳教材」を活用する。
- (6) 必要に応じて、補助者との連携を図り、補助内容を明記する。
- (7) より分かりやすく、そして楽しく指導するための「教材・教具」を作成し、提示の仕方等、工夫する。

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A1	初期指導 ・3年生 ・2年ほど日本で生活をしている ・ひらがなは読める	小学生	にほんごを まなぼう 25課「まちのことをしよう」

1. 目標 町にある建物の名前と用途を知る。
 「どこにありますか?」「行ったことがありますか?」
 「何をしましたか?」の文型を使う。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 あいさつ 「おはようございます。2月20日金曜日1時間目の授業をはじめます。」 日記を書く。 2 登校途中に見つけた建物や施設を発言させる。	・生徒に挨拶をさせる。 ・文字の間違えは正しいものに書き直させる。 ・学校の近くにある写真等を見せる。 ・言い間違えた発音については、その都度正しい発音を教える。	・写真(絵)
展開 (35)	3 教科書のP.70～P.71の地図を提示する。施設の名前は隠しておく。	・拡大投影機で教科書を映し出す。 ・施設名は付箋等で隠す。 ・小学校を中心に押さえる。	・拡大投影機 ・教科書
終末 (5)	4 学習のまとめをする。施設の名前と用途を確認する。		

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来日4か月程度。 ・ ひらがなが・カタカナが半分くらい読める。 ・ ひらがなが・カタカナが少々書ける。 ・ 日本語で教師の指示が通る。 ・ 日本語で自己表現が少しできる。挨拶はできる。 	3名 (1年・3年・5年)	・「にほんごをまなぼう」 9 みのまわり(p32,33) 3時間展開

1. 目標 身に着けるものの着脱の表現（着る・履く・脱ぐ・付ける・取る）を覚える。
 (9課 2/3)

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	① 挨拶をする。 ② カレンダーワークをする。 ③ 五十音の発音練習をする。		カレンダー 五十音表
展開 (35)	④ 前時の復習をする。 ・ カードを見せて、身に着けるものを言わせる。 ⑤ 学習の課題の確認をする。 うごきをおぼえよう。 ⑥ 名札を付ける絵と取る絵を見せて、「何していますか？」と質問する。 ⑦ 「着る・脱ぐ・履く」の言葉を導入する。 ・ 「履く」という言葉は、下半身に身に着ける時に使用するということを伝える。 (くつ・靴下・ズボン)	・ 前時の復習として、フラッシュカードのようにカードを提示する。 ・ 児童から言葉を引き出す。 ・ 言えた時には褒める。 ・ 絵には赤・青で色分けをした矢印をつけて、視覚的に分かりやすく提示する。	身に着ける物カード 絵カード

<p>終末 (5)</p>	<p>⑧ 言いながら動作をする。</p> <p>⑨ ジェスチャー・ゲームをする。 (1) 先生の指示の通りにジェスチャーをする。 (2) 教師のジェスチャーを当てる。 (3) 一人にカードを見せてジェスチャーをやらせ、ほかの児童に動作を当てさせる。</p> <p>⑩ 身に着ける物カードを見て、動作を言う。 ⑪ 振り返りをさせる。 ⑫ 次時の連絡をする。 ⑬ 挨拶をする。</p>	<p>・様々なバリエーションで行う。 (教師はジェスチャーなし・ひっかけて違うジェスチャーをする等)</p>	<p>振り返りカード</p> <p>身に着ける物カード</p>
-------------------	--	---	---------------------------------

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A3	来日間もなく（1か月ぐらい）、日本語はほぼわからない。	小学校 低学年	にほんごをまなぼう 9課 みのまわり

1. 目標 身に着けるものの名称と着脱の表現を覚える。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<p>1 はじめのあいさつ 「これから日本語の勉強を始めます。」 「よろしくおねがいします。」</p> <p>2 カレンダーワーク ・月日 天気について</p> <p>3口のたいそう あいうえおのうたを歌う。</p> <p>4学習のめあてをつかむ</p>	<p>明るく大きな声で話す。</p> <p>・楽しい雰囲気です。</p> <p>・絵カードを見せたり、ジェスチャーを使ったりして伝える。(脱ぐ、着るなど…)</p>	<p>カレンダー</p> <p>国語1年 指導書のCD</p>
展開 (25)	<p>5 名詞の学習 ・身の回りのものの名前を覚える。</p> <p>6 動作の学習 ・動作を表す言葉の学習をする。 (例)「〇〇しましょう。」</p> <p>7 学習した言葉の定着を確認する。 ・教師の指示で児童が身振りをし、理解しているか確認をする。</p>	<p>・絵カード表に絵を、裏にひらがなと母国語を書く。</p> <p>・絵カードや動作でイメージできるようにする。 ※ここでは助詞は扱わない。 動作を理解できるようになってから教える。</p> <p>・教師が質問し、児童が絵カードを指さして言葉とのマッチングを確認する。 (グループ学習ときはペアで確認する。)</p>	<p>絵カード (名詞)</p> <p>絵カード (動作)</p>
終末 (10)	<p>7 学習のまとめをする。 言葉かるたで楽しみながら定着を図る。</p>	<p>・できたことをほめ、わからなかった時は、もう一度教えるようにする。</p>	<p>言葉かるた</p>

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
B1	中級	小6	ひろこさんのたのしいにほんご2

1. 目標：

比喩に関する表現「のよう」と「みたい」を理解し、使えるようにする。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○始まりのあいさつをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の言葉 ○カレンダーワーク <ul style="list-style-type: none"> ・日にち、曜日、天気 ○口のたいそう <ul style="list-style-type: none"> ・早口言葉を楽しむ。 ○前時の学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく言えない時は、教師の言葉に続いて繰り返させる。 ・流ちょうさが増したところをほめる。 ・文法事項を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日付と曜日 (光村図書) ・早口言葉 ビンゴ カード
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; text-align: center;">「のよう」や「みたい」を使って、文を作ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「あの子のほっぺたはりんごのようです。」 ・「きょうは春みたいにあたたかいです。」 ・「雪はダイヤモンドのようにかがやきました。」 ・比喩という言葉进行を教える。 ○テキストの文章に挙げられている内容を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の範読を聞きながら、比喩表現に下線を引く。 ・内容を確認しながら音読する。 ○ワークシートに比喩表現を使って文を完成させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・カードを使って形容詞を確認する。 「暑い」「寒い」「甘い」「苦い」 「赤い」「白い」「強い」「弱い」 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と会う絵を選ばせ、理解を助ける。 ・二つの表現の仕方があることを知らせる。 ・「赤いほっぺた」と「りんご」の写真を見せ、似ていることに気付かせる。 ・正しい発音を聞かせる。 ・比喩表現が多数示されていることに気付かせる。 ・発音しながら書くようにアドバイスし、 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・イラスト ・写真 ・テキスト ・ワークシート（Ⅰ、Ⅱ）

	<p>「重い」「軽い」</p> <p>○比喩の表現を使って文を作る。</p>	<p>音と文字を結び付けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話で書きたい内容を引き出してから書かせるようにする。 ・日本語がわからない場合は、絵を描かせて該当の日本語を教えたり辞書で調べさせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短冊 ・こどもことば絵じてん
--	--	---	--

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
B2	フィリピンから来日して1年。 簡単なあいさつや基礎文法の学 習は終了している。学習言語の 習得が課題になっている。	小5 男子 2名	ひろこさんのにほんご2 84課「雪はダイヤモンド のようにかがきました」

1. 目標 比喩の言い方「～は～のよう（みたい）です」の言い方を理解し表現できる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 カレンダーワークを行う。 2 絵カードを使って、物の名前 の発音練習を行う。 ・食べ物名前（リンゴ、みかん、 わたがし、など） ・四季（春夏秋冬） ・天気（晴れ、雨、くもりなど） ・動物の名前（犬、うさぎなど）		絵カード
展開 (25)	3 学習問題を設定する。 <u>～は～のようです の文を作ろう</u> ・くも は わたがし のよう です。 4 絵カードを使いながら、文を 作らせる。 ・赤ちゃんの手はもみじのよう です。 ・先生のかおはオニのよう です。 ・うさぎは雪のように白いです。 ・せんべいは石のように固い です。 ・このぬいぐるみは本物のよう で	・絵カードを使って例 示することで視覚的 にわかりやすいよう にする。 ・節分でオニの学習を したことを想起させ る。 ・子どもの実態に 応じて、「～のよう に～です」の文を 扱う。	絵カード

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このぬいぐるみは本物みたいです ・先生はお姫様のようにきれいです。 ・雪はダイヤモンドのようにかがやきます。 <p>5 ペアで絵カードを選び問題を出しあわせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで「～みたい」という表現ができることを教える。 ・子どもがなかなか選べない場合は、関連した言葉かけをして選びやすくする。 	
終末 (10)	<p>6 テキストの文章を読み、「～のよう」「～みたい」の文章を抜き出して書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に線を引かせる。 	ワークシート

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
C1	1年生程度の漢字はできる。	2年	さげが大きくなるまで

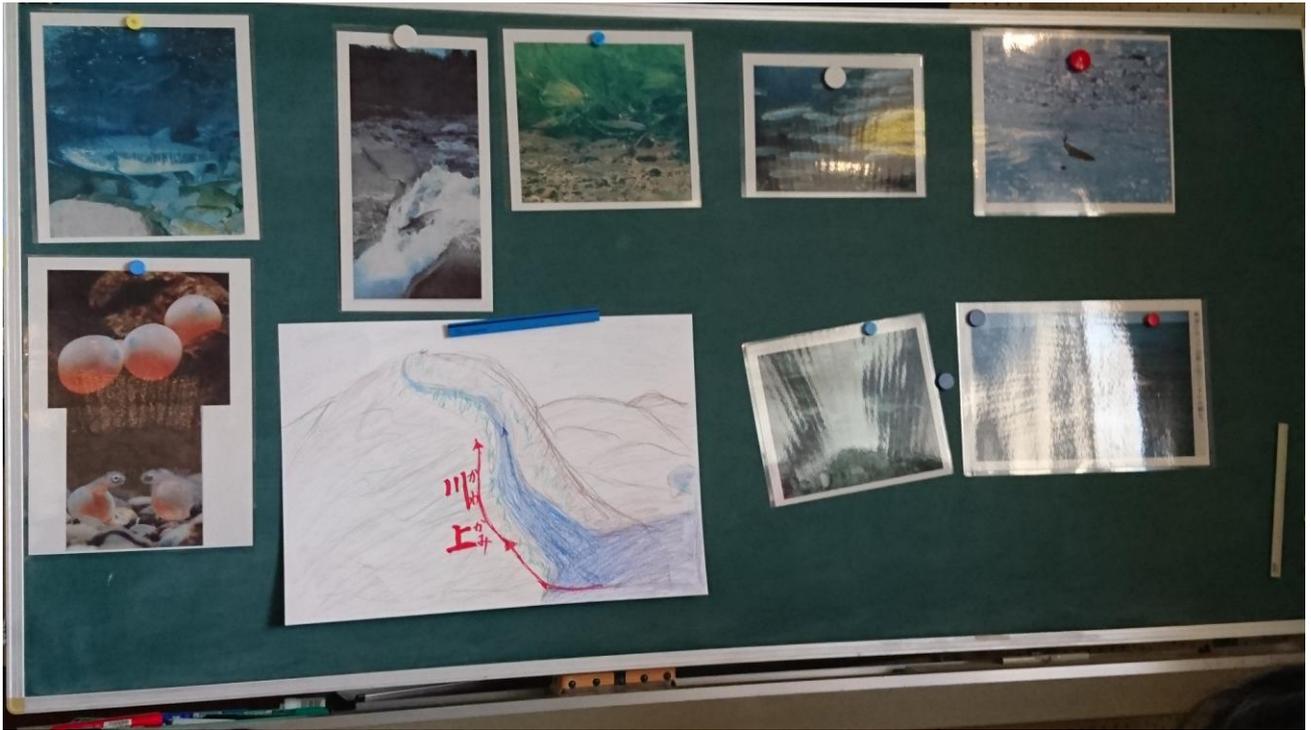
1. 目標

教科：時や場所を表す言葉に気を付けて文章を読むことができる。

日本語：写真を使って時や様子を表す言葉を見つけることができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・卵から大人になるまでの写真を見て前時に学習したことを振り返る。 ・季節の確認をする。 春→夏→秋→冬→春 	<ul style="list-style-type: none"> ・「鮭」について、どんな魚だったのか思い出させる。 ・季節の言葉と順番を確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鮭やイクラの写真
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の目当てを知る。さげが大きくなるまでを知ろう。 ・川を上っていく鮭の写真について知る。 「秋になるころ」 「海から川へやってきます」 ・残り5枚の写真を並べる。 ・写真の並び順を確認する。 「冬の間」 「4センチメートルぐらい」 	<ul style="list-style-type: none"> ・時を表す言葉や様子を表す言葉に着目させるようにする。 ・順番を間違えてもそのままにしておく。 ・時や様子を表す言葉のカードを用意し、写真の横に貼るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 鮭の様子を表した写真 時や様子を表すカード
終末 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習をワークシートに書く。 		ワークシート



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
C 2	ひらがな・かたかなが使える。 1年生程度の漢字がややわかる。	2年生	さけが大きくなるまで

1. 目標

- 日本語指導の目標 時・場所・大きさを表す言葉を探せる。
- 教科（国語科）の目標 写真を使って、さけが大きくなる様子が話せる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 始めのあいさつをする。 2 カレンダーワークをする。 3 前時の学習を振り返る。 ・さけは、北の海にすんでいる ・70cmくらいの大きな魚	・実物大のさけのイラストを提示し、大きさ（70cmくらい）を確認させる。	実物大のさけのイラスト
展開 (30)	4 2の段落（P33 L1～P34 L7）の範読を聞く。 5 2の段落を音読する。 6 時・場所・大きさを表す言葉を探す。 ・秋になるころ ・海から川へ ・川上へ 川上へ ・水のきれいな川上 ・三メートルくらいのたき ・ふかさが三十センチメートルくらい 7 見つけた言葉をワークシートに書く。	・本文にルビを振り、時・場所・大きさを表す言葉を色分けした教材を音読させる。 ・色分けした語彙カードを用いて言葉を整理させる。 ・写真や絵地図を見せて、川上や滝を視覚的にイメージさせる。 ・教師といっしょに語彙カードを分別しながら、ワークシートにまとめさせる。	リライト教材 語彙カード 写真 絵地図 3m・30cmを示す具体物 ワークシート
終末 (5)	8 学習を振り返る。 9 次時の予告	・ワークシートを利用して、振り返らせる。 ・さけの卵の写真を見せて興味を持たせる。	写真

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
D	来日1年、会話がおおよそでき平仮名片仮名が読み書きできる、週2時間の取り出し指導	4年	社会科「水はどこから」

1. 目標 水のじゅんかんを知る。(教科の目標)
水のじゅんかんに関わる語彙を理解する。(日本語の目標)

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (3)	1 始めのあいさつをする。 2 近況について話す。 3 水道の蛇口から水が出なくなったらどうするか、考える。	○水はわたしたちの暮らしに欠くことのできないものであることを実感させる。	
展開 (32)	4 一月のお風呂にどれぐらいの水を使うか考える。 5 本時の学習問題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 水は、どのように家までとどくのだろうか。 </div> 6 図を基に説明する。 ・川から流れている水はそのまま家まで届くのかな ・使って汚くなった水はそのまま川や海へ流しちゃうのかな 7 語彙を理解する。 ・川の上流、下流 ・じょう水場 ・水道管 ・下水しより場 ・水のじゅんかん ・水じょうき <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> いろいろな所をまわって、家までとどく。 </div>	・一回のお風呂で約200リットル使うことを知らせる。 ・立法メートルの退位を知らせる。 ・川の水や汚れた水を示し、これを飲んだり流したりして良いのか考えさせる。 ・じょう水場で水をきれいにし、水道管を通して各家に送られることを知らせる。 ・使われた水は、下水しより場できれいにし、川に流すことを知らせる。	・ 掲示物

終末 (10)	8 学んだことを基に、ワークシートに記入する。 9 終わりのあいさつをする。		・ワークシート
------------	---	--	---------



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
E	生活言語ができる。学習言語が乏しい。	小学 3年生	わくわく算数3下（啓林館） 「13 分数」

1. 目標

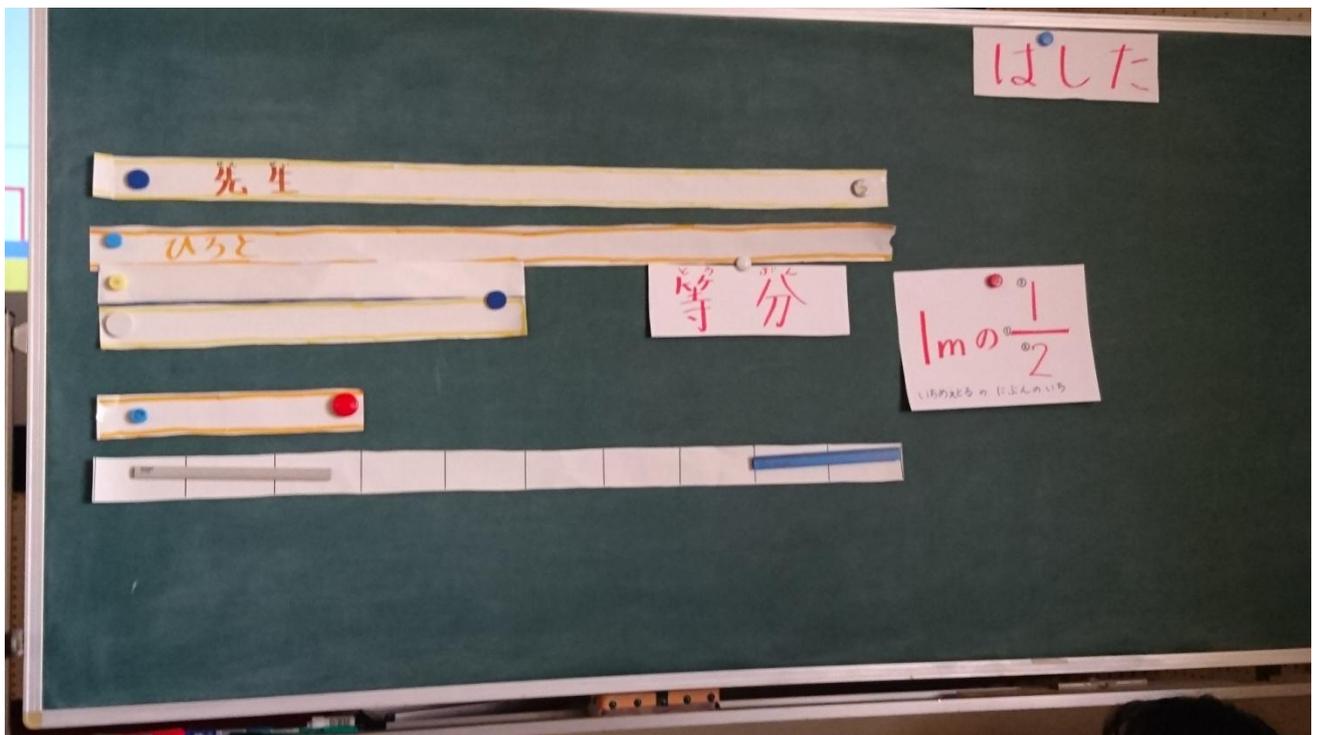
【教科の目標】はしたの大きさの表し方を知る。

【日本語指導の目標】「はした」「等分」の意味を知る。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (7)	<p>1 始めのあいさつをし、カレンダーワークを行う。</p> <p>2 3本のテープを見て、気づいたことを発表する。 ※ 1mよりも長い。 ※ はみ出しているところは、1mよりも短い。</p> <p>3 1mより短い長さを「はした」の長さということを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ文や曜日、月日を掲示しておく。 視覚で確認した後、実際に切って確かめさせる。 1mより短い長さを「はした」の長さということをおさえる。 	紙テープ 1mものさし
展開 (33)	<p style="border: 2px solid blue; padding: 5px; text-align: center;">はしたの長さは、1mのどれくらいですか。</p> <p>4 はしたを切って、長さ確かめる。</p> <p>5 アの長さは、1mを2つに分けた1つ分と気づく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1mのテープをもちに2本のはしたのテープを比較させる。 児童が気づいたことを取り上げていく。 	はしたのテープ

	<p>※ 1 mの半分。</p> <p>6 同じ長さで2つに分けることを「2等分する」ということを知る。</p> <p>7 アの長さは1 mの$\frac{1}{2}$であることを知る。</p> <p>8 イの長さは、1 mを3つに分けた1こ分（3等分）だということに気づく。</p> <p>9 イの長さは、1 mの3分の1ということを知る。</p> <p>10 適用問題を解く。 テープ図で1 mのどれだけか、色を塗る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先生のテープを半分にする、$\frac{1}{4}$になると助言する。 	<p>ワークシート</p>
--	--	--	---------------



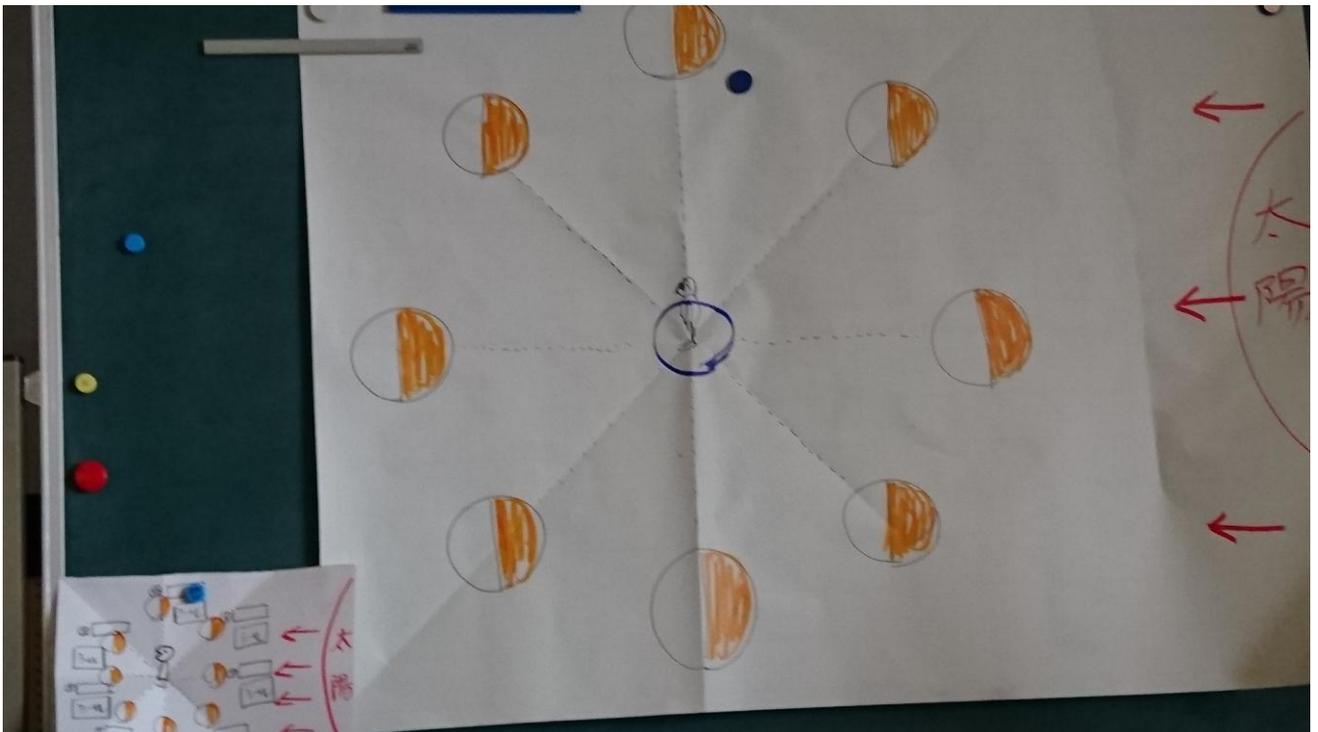
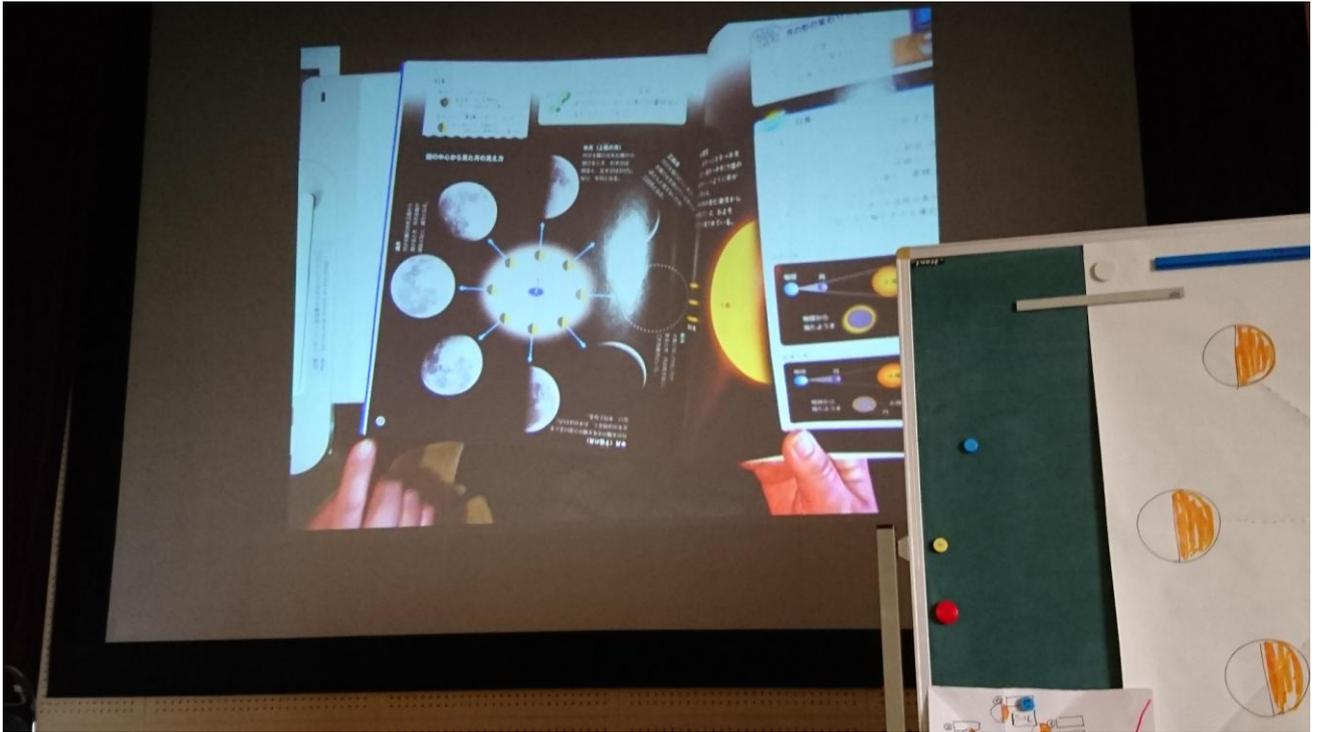
日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
F	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年で来日。日常会話はできる。家庭内では母語で会話している。 ・学習日本語は未だ不十分である。 	6年	月と太陽

1. 目標 日本語で新月・満月・半月・三日月・方位が言える。
月の見え方は太陽と月の位置関係が関係することが指摘できる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ・カレンダーワーク。 ・方位磁針の見方の確認。 ・歌（でたでた月が・・・を歌う） ・宿題の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8方位で読むことを確認させる。読めない場合はヒントを与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方位磁針 ・ 宿題のプリント
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見た月の形と名前を確認する。 ・ 満月・半月・三日月・新月を新しい言葉として聞く・話す・読む・書く。 ・ どうして月の形が変わるのかを考える。 ・ 懐中電灯と月に見立てたボールを使い、光の当たり方によって、月の形が変わることを実験する。 ・ 月の位置当てゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語で月の形を言わせる。書かせる。 ・ その都度、月の形と名前を言わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月、太陽の位置の図。月の形シール。



日本語指導略案

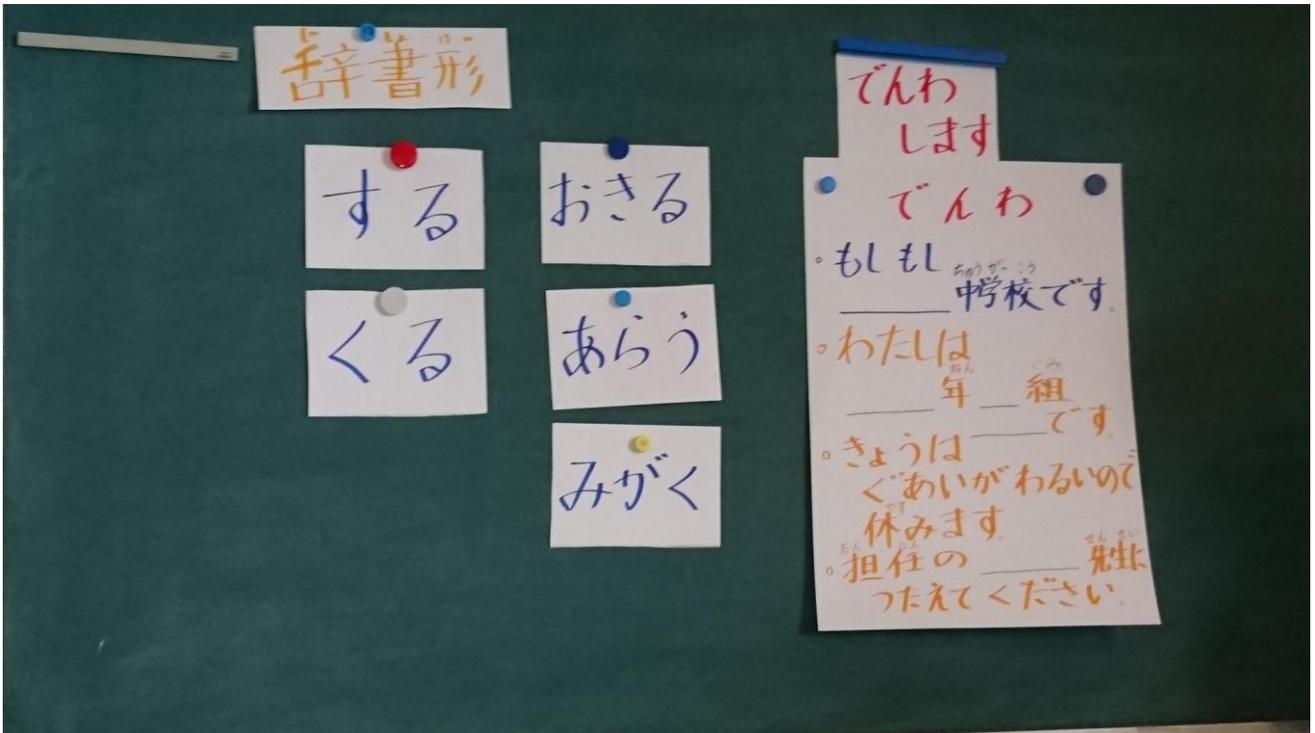
グループ	日本語力	対象	教材及び課題
G	初期（来日半年）	中学生	こどもの日本語1 「でんわ①」

1. 目標 簡単な動詞の辞書形の習得、電話の受け答えの表現を学ぶ

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	あいさつ ・天気 ・体調 ・日付 ・日記	・生徒の体調などを見ながら、正しく言えているか確認する。	カレンダー
展開 (30)	○宿題チェック（会話文の中の新しい語彙を覚えているかテストで確認） ○辞書形（動詞は「～する」を表す言葉で辞書にのっている形）と辞書を使いながら理解させる。 単語カードを使いながら辞書形の練習 ○テキストの文章を使って電話の表現、辞書形で文を言う練習 ○欠席するときに電話をかける設定で練習 ・体調に関する表現の練習 ・電話をかけるときの自分の述べ方 ・要件の言い方	・確認テストの丸付け間違っていたものは再度練習するよう指導する。 ・カードを見せて、ます形を言えるか確認 辞書形に直せるか確認 ・今まで習った動詞をます形になおせるか確認 ・テキストの会話を読んで意味の説明 リピート 会話練習 ・基本文を見ながら練習させる。 意味の確認	単語カード 基本文を書いた紙
終末 (10)	○実際に電話をかけている設定で会話する 今日の表現のまとめ	・臨場感あるよう実際に会話しているような雰囲気を作る	おもちゃの電話

終わりのあいさつ



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
H	会話で意思疎通を行える。文章を読んである程度の内容を理解できる。	中1 (1名)	国語「音を追いかけて」 教育出版 1年

1. 目標 前半部分の音読と登場人物・場について知ることができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ ○日にち、曜日、天気の確認 「○月○日○曜日、天気は○です。 これから今日の学習を始めます。」 ○本時の課題を確認 前半部分の音読と登場人物の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように、大きな声ではっきりと言うように促す。 ・タイトルにふれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板 ・フリップカード
展開 (35)	<ul style="list-style-type: none"> ○読めない漢字・語句の確認 ○前半部分の音読 ○ワークシートを使用し、登場人物と場面の確認をする <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の確認 「誰が出てきますか」 ・場面の確認 「どこですか」 「何をしていますか」 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書にふりがなをふらせる。 ・大きな声で正しく発音できているか、文の区切れは適切か、確認しながら音読を聞く。 ・ワークシートに記入させる。 ・本文からわかる登場人物の名前をあげさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ワークシート ・キーワードカード

音を追いかけて

咲

未来

先輩

トランプ

指押